

令和2年度 八代高等学校シラバス

教 科	数学	科 目	数学 A	学 年	1	類 型	全クラス
単位数	2	教科書	Mathematics 数学A 改訂版（啓林館）				
副教材	アドバンス 改訂版 数学 I + A（啓林館）						

学習目標	数学的活動を通して、数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深め、事象を数学的に考察し表現する能力を高め、創造性の基礎を培う。また、数学のよさを認識し、それらを積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断する態度を養う。
------	--

学期	学習内容	学習の到達目標 (完全に理解すべき事項)	到達度自己評価 A B C
1 学 期	第1章 場合の数と確率 場合の数 確率	順列・組合せを理解し、計算できる。 場合の数を利用して確率を求められる。 独立な試行の意味を理解し、確率を求められる。 条件付き確率を理解し、確率を求められる。	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐
2 学 期	第3章 整数の性質 約数と倍数 ユークリッドの互除法 整数の性質の活用	素因数分解を用いて公約数や公倍数を求められる。 ユークリッドの互除法の仕組みを理解する。 1次不定方程式の整数解を求められる。 2進法の仕組みや、分数が有限小数や無限小数で表される仕組みを理解し、事象の考察に活用できるようになる。	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐
3 学 期	第2章 図形の性質 平面図形 空間図形	三角形や円の性質を理解し、活用できるようになる。 空間における直線や平面の位置関係やなす角について、また多面体の性質を理解する。	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐

学習方法	予習を前提とした授業を行う。予習では例や例題を参考に練習問題を解くこと。復習は「日々の演習及び週末課題」に取り組み内容の定着を図ること。
------	--

評価方法	考査評価8割、平常評価2割で総合的に評価し、最終的に100点法の評点および5段階で評価する。平常評価は課題の提出状況、小テスト、授業への取り組み等で行う。
------	---